



特集 「音訳ボランティアをご存知ですか」

地域の今を届ける密着レポート／子どもたちのよもぎ団子作り
イベントpick up!／第9回 黒部市社会福祉大会
連載／ふくしスマイル・ワーカー
etc.

今月の表紙 100号記念「ありがとう」—おかげさまで福祉くろべは100号を迎えました

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業

生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00

参加無料!

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 レクリエーション	2	3 自力整体 香りの湯	4 自力整体 香りの湯	5
6 ヤンバイ 映画館	7 自力整体 香りの湯	8 自力整体 香りの湯	9	10 レクリエーション	11 レクリエーション	12
13	14 新川荘	15 新川荘	16	17 新川荘	18 新川荘	19
20 ヤンバイ 映画館	21	22 健康体操	23 健康体操	24 健康体操	25 健康体操	26
27	28 体操	29 体操	30	31 体操	1	2

時間/10:00~ 自力整体・・・稲田 清美先生

健康体操・・・石田みどり先生

自力整体で 気持ちよくほぐしましょう

心と体をリラックスさせながら自力整体
指導員のもと体操を行います。
入浴では香り(精油)の湯が楽しめますよ!

参加費 無料(生き生き倶楽部に登録の方)

※医師から運動を止められている方はご遠慮願います。

黒部市宇奈月老人福祉センターにお問合せください
担当:広浜まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

<http://www.kurobesw.com/>

●本所 黒部市福祉センター内
〒938-0022 黒部市金屋464-1
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)
Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

●宇奈月支所 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111
TEL・FAX.(0765)65-9533
Eメール u-shakyo@ma.mrr.jp

くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための

元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00

参加費/300円(入館料のみ)

対象/65歳以上の方



※■は休館日

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2 健康体操	3	4	5
6	7	8 健康体操	9	10 音楽療法	11 体操	12
13	14	15 音楽療法	16 アロマ・ヨガ	17	18	19
20	21	22 アロマ・ヨガ	23	24 アロマ・ヨガ	25 アロマ・ヨガ	26
27	28	29	30 音楽療法	31	1	2

時間/10:00~ 健康体操・・・牧野 和子先生

アロマ・ヨガ・・・村田あゆみ先生

音楽療法・・・畠山 悦子先生

編集後記

おかげさまで「福祉くろべ」は100号を迎えることが出来ました。発行にご協力くださいました全ての皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。この節目を通過点と捉え、トライする気持ちを大切に、今後も「福祉くろべ」らしい情報を発信していきたいと思っています。

編集 中野



[黒部市の人口] 41,936人 [65歳以上の人口] 12,090人 高齢化率 28.6%
H26.6.1 現在(外国人を除く)

特集

「音訳ボランティア」を

ご存知ですか

—好きなことで社会に役立つことが嬉しくて—

毎月皆さんのお手元へお届けしている「福祉くろべ」。この広報誌などを視覚障害者の方のために声に出して読み録音したものを届ける活動をしているボランティアグループがあります。

今回の特集では、あまり知られていない「音訳」という活動をしている黒部リーディンググループ、そして社会に役立つことの喜びについて取り上げます。視覚障害者のために、情報を正確に伝える活動には、深い思いやりと強い責任感がありました。



視覚障害者に
伝わるように声で表現

黒部リーディンググループは、文字を読むことが困難な視覚障害者の皆さんのために、「福祉くろべ」「広報くろべ」「くろべ市議会だより」「ニコニコタウン」を音訳し、定期的にお届けしているボランティアグループです。

目で「見る」情報を得られない人のために、耳から得る「音」で情報を届けるのが「音訳」です。書かれた文字や写真などを声で表現し、細かく正しく伝わるように読まなければならぬ大切な活動です。文章を読むだけなら簡単なことのように感じますが、視覚障害者に伝わるように読むということには、また違った技術が必要です。

広報は毎月1日に発行されます。メンバーは前月末に自宅まで読み、録音したデータを月初めに持ち寄り、大布施公民館で編集していただきます。作業は2日間ですが、毎月発行されているので定期的な活動が求められます。

今は声をお届けするのにカセットテープを使用していますが、音を聞く方法も様々になってきましたので、CDに入れるなどデジタル化に向けての準備も進めています。今後は、ホームページなどでデータ配信も見込まれます。

代表の村瀬靖子さんは「音訳という言葉の意味と、この活動をできるだけ多くの方々に知っていただき、必要とされている方に利用していただきたいですね。そして願わくば多くの方に参加していただきたいと思います」と話します。

ありがとうの声
が何より嬉しい

黒部リーディンググループの歴史は古く、視覚障害者のために、「市報くろべ」を音声で吹き込んでほしいとの黒部市からの申し入れで昭和63年に設立され、黒部市の委託を受け活動しています。

「当時は市役所の一室で職員が読み録音していました。視覚障害者のための活動を市民ボランティアの手で行うことで、この活動の必要性がもっと広く知られることになればと、グループ化されました。音訳した情報を利用していただく視覚障害者の方々に感謝されることが、何より嬉しくて、やりがいになっています」と村瀬代表は話します。



ちゃんと伝えられるよう丁寧に読み上げるメンバー



夏休み 子ども記者 募集!!

夏休み特別企画 ★子どもたちの「福祉くろべ」をつくろう

記者になって、
町のことを取材しよう!

黒部のさまざまな福祉の
話題について子ども目線
で調査、取材を行います。小
学5年生〜中学3年生まで
で黒部市内在住か市内の学
校に通学している児童・生
徒のみなさん。

自分の町のことを知った
り、普段この町に住んでい
て疑問に思うことなどを調
べたり関係者にインタ
ビューを行って記事にしま
せんか?

記者募集!

- ★対象者
小学5年生〜中学3年生までで黒部市内在住か市内の学校に通学している児童・生徒
- ★募集人員
5名程度(応募多数の場合は抽選とさせていただきます)
- ★活動内容
福祉くろべ9月号の記事として掲載
- ★主なスケジュール
「7月中旬」…打ち合わせ会議
「7月下旬」…取材活動
「8月上旬」…記事づくり

夏休み子ども記者申込書

ふりがな	ふりがな
氏名	保護者氏名
住所	
TEL(本人)	保護者連絡先
所属学校名	
備考	

応募締切
7月11日(金)

お申込みはこちらまで! 申込書を黒部市社会福祉協議会までFAX(0765-52-2797)で送付してください。



大変な作業でもメンバーで協力し合い楽しみながらお届けしています

昨年10月に誘われて会員になったという谷川紀子さんは「毎月良いい緊張感を味わっています。言葉の意味やアクセントを辞典で調べ、わかりやすく正しく伝えることは、ボランティア以上に自分の勉強にもなっています」と、難しさとともに楽しさを感じているそうです。

設立当初からの会員、西村好美さんは「音訳ボランティアは、私の生活の一部です。支えでもあるし、喜びでもあります。常に基本的に立ち回り、誰のための何のための活動かを考えながら責任を持って活動したいです」と話してくれました。

好きでやっていることが 社会の役に立つ喜び

村瀬さんをはじめとする黒部リーディンググループの皆さんからお話を聞いてみると、学ぶ気持ちや向上しようという気持ちを強く持ちながらも、自分以外の誰かのために役立つという意識が伝わってきます。何より感じるのが「音訳が好き」という気持ちです。自分以外の誰かのために活動し、学び向上する、この姿勢は何もボランティアだけではなく、私たちの日々の仕事やもつと言えれば生き方という意味で学ぶことが多いのではないのでしょうか。

好きなことで社会に役立つことは簡単ではないかもしれませんが、もしも自分が好きでやっていることが社会の役に立ったなら、その喜びもまた大きいと思います。

あなたが自らの力を活かし地域社会を支える協働の場として、黒部市社会福祉協議会があります。ボランティア活動は、その一つです。好きなことや学んでいることから、きっかけを見つけて参画してみませんか。



声のたよりド・レ・ミ(福祉くろべ、ニコニコタウン)担当の皆さん
河田嘉代子さん、西村好美さん、開沢裕子さん



広報くろべ、くろべ市議会だより担当の皆さん
(後)谷川紀子さん、長谷川文子さん、河村幸子さん
(前)安原麗子さん、村瀬靖子さん、高森悦子さん

募集のお知らせ

聞いてくださる方(利用者)と、読んでくださる方(会員)の両方を募集しています。

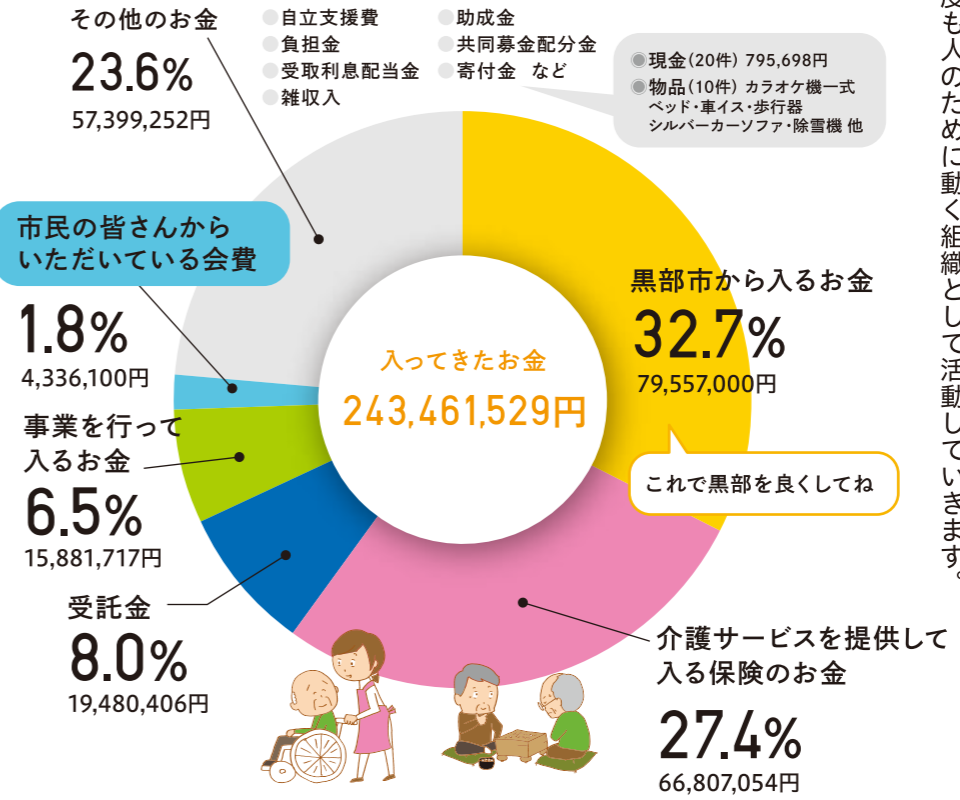
聞いてくださる方はこのサービスを無料でご利用いただけます。まずはお気軽に下記にお電話ください。

お問い合わせ・連絡先 くろべボランティアセンター TEL.54-1082

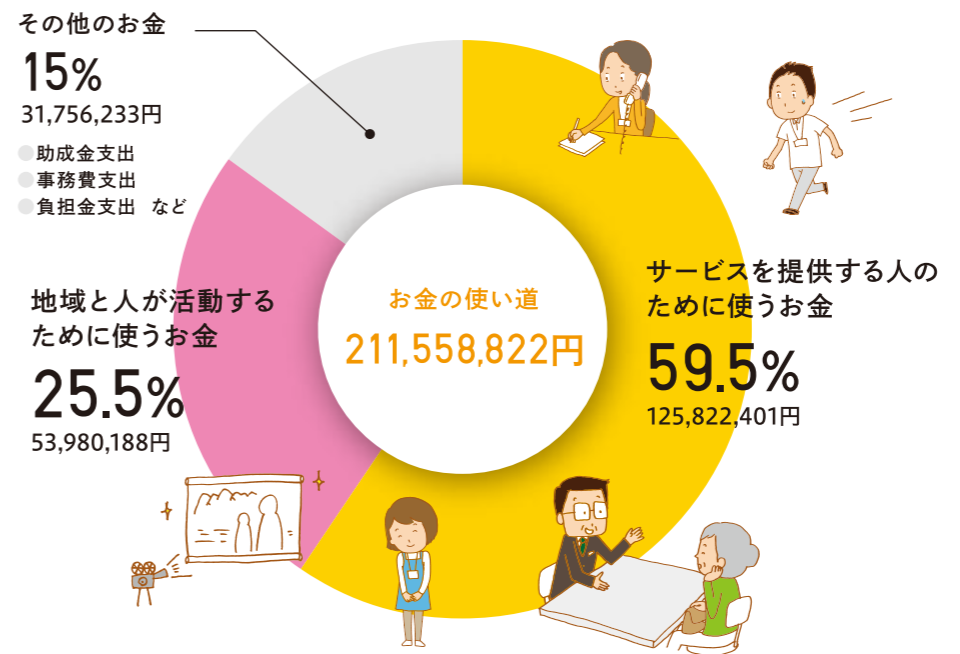
平成25年度の報告
黒部市社会福祉協議会 平成25年度事業報告

おかげさまで平成25年度を無事終えることができました
今年度も人のために動く組織として活動していきます。

平成25年度収入の内訳



平成25年度支出の内訳



平成25年度決算の詳細は黒部市社会福祉協議会のWEBでご覧いただけます。 <http://www.kurobesw.com/>

黒部善意銀行 平成25年度活動状況のご報告



黒部善意銀行

皆さまのあたたかい善意に
心から感謝いたします
集まった皆さまの善意は
福祉活動に役立てています

預託 (寄付)

合計(56件)	936,219円
内訳	
一般預託(54件)	936,219円
物品預託(2件)	ひざかけ 37枚 肩かけ 1枚

貸出 (配分)

合計	175,000円
内訳	
修学旅行参加生徒への寸志として	125,000円
一時貸出金	50,000円

貸出対象者 ●生活保護世帯 ●準要保護世帯

預託者ご芳名

生地	音沢	黒部市立荻生小学校	宇奈月グランドホテル
故 浄土 和夫	故 山本 正義	富山県立にかわ総合支援学校	宇奈月ニューオータニホテル
浄土 時枝	他市	ユニー株式会社アビタ黒部店	宇奈月国際ホテル
石田	富山県移動商業組合	YKKAP株式会社黒部越湖製造所	延楽
石垣 良勝	企業・団体	『愛のともしび』募金箱	新川荘
大布施	弘楽会	黒部市立中央公民館	ホテル黒部
松野 美恵子(物品)	黒部市芸術文化協会	生地公民館	ホテル溪仙
三日市	くろべ陶芸友の会	荻生公民館	風車
中田 美智代	北陸労働金庫黒部支店	若栗公民館	ワークマン黒部店
故 松島 泰道	地域常任推進委員会	東布施公民館	ファミリーマート黒部三日市店
前沢	黒部民謡清韻会	宇奈月郵便局	黒部市福祉センター
故 村井 敬作	古金北壮年会	黒部川電気記念館	

感謝状の贈呈

明るい社会づくりに寄付された次の方々に
平成26年2月23日、富山県善意銀行より感謝状が贈られました。

- 石田小学校ほっとハートクラブ
- 村椿小学校6年地域クリーン活動隊
- 北陸労働金庫黒部支店地域常任推進委員会
- 宇奈月小学校
- 田家小学校
- 鷹施中学校

敬称略・順不同

窓口

- 事務所……黒部市福祉センター、宇奈月老人福祉センター
- 市役所……黒部庁舎 福祉課、宇奈月庁舎 市民サービス課
- 『愛のともしび』募金箱

黒部善意銀行では、預託(寄付)という形でみなさまの善意をお預かりし、社会福祉事業に活用させていただいております。

特別企画

いつもご愛読いただきありがとうございます！
福祉くろべは
発行100回目を
迎えました

新黒部市となって新しい福祉くろべが創刊されてから今年で9年目。今月号でついに100回を迎えました。毎月発行していると思うと、8年と少しの時間が経ったということになります。ワールドカップで言えばちやうど2大会前のドイツ大会が



福祉くろべ創刊号(2006年4月)

開催された年でもありません。100号を発刊するにあたり、第1号はどんなものだったのだろうと思ひ探してみました。創刊号では合併したばかりということもあり、宇奈月が特集されていました。8年間続けられているのは、読んでくださる方がいるからだと思っています。100号発刊は市民の皆さんのおかげです、ありがとうございます。これからも、200号300号を目指して皆さんに読んでいただける、読んでくださった方々のためになるよう、がんばります。地域の話題や注目の人物など、取材にうかがいます。情報がありましたら、ぜひお知らせください。

福祉くろべ100号を記念して
子どもたちが「100」を作ってくれました！



今月号の表紙は、福祉くろべ編集チームです。いつも読んでくださる皆さんに感謝の気持ちを込めながら「ありがとう」の文字を描きました。

活動レポート

春のかがりがいっぱい！
子どもたちの
よもぎ団子作り

5月17日(土)内山地区社会福祉協議会では、公民館共催で小学校児童12名と、よもぎ団子作りを行いました。子どもたちは、近くの畑へよもぎを摘みに行き、地区の高齢者から作り方を教わりながら、小さなかわいい手でお団子を丸めます。

茹でたお団子は、あずきときな粉、ゴマの味をつけて出来上がり。また、エラナの味噌汁が美味しくて、お代わりする子がたくさんいました。自然の恵みに感謝しながら春の味覚を堪能しました。

※エラナ…山菜の一種

よもぎ団子が
できるまで

写真レポート



道ばたにたくさん生えてるね！



いっぱい
つんだよ！！



洗ったよもぎをさっとゆでて細かくします。



餅粉と一緒によーこねて…



熱湯にくぐらそう！

できた！！



きな粉をかけて…美味しそう！

みんなで
食べるともっと
美味しく感じます！

来て見てヤンバイ映画館

開催時間:13:30から 入場無料

7月 8日(火)	「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」 場所 石田交流プラザ
7月10日(木)	「わが母の記」 場所 若塾ふれあいセンター
7月15日(火)	「花のお江戸のやくざ姫」 場所 生地コミュニティセンター
7月22日(火)	「ひばり捕物帖ふり袖小判」 場所 栃屋郷土館
7月29日(火)	「RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ」 場所 浦山公民館
7月30日(水)	「まじめにふまじめ かいけつゾロリなぞのお宝大さくせん」 場所 村椿公民館

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談
行政相談員と行政相談

ご予約
不要です

黒部市福祉センター 7月 8日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館 7月10日(木) 13:30~15:30
(宇奈月町浦山2100-2)

弁護士と法律相談

予約受付
7月1日より

黒部市福祉センター 7月15日(火) 13:30~15:30

催し物と休館日のご案内

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

7月の催し物

5日(土)	歌謡パラダイスふれあいショー	10:30~
13日(日)	カサブランカ愛好会	10:00~
19日(土)	華の会歌謡ショー	10:30~
20日(日)	YKK社友会歌謡同好会	10:30~
26日(土)	こぶしカラオケ愛好会 発表会	10:30~
27日(日)	カラオケあえの風発表会	10:30~

休館日 毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)

※7月6日(日)は敬老会開催のため入浴のみの入館となります。

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ
毎週金曜日(4日・11日・18日・25日)

元気カラオケクラブ/健康麻雀クラブ
10日(木)・24日(木)

今月の湯

入浴時間 10:00~16:00

- 7月 1日(火)~ 6日(日).....プラセンタの湯
- 7月 8日(火)~13日(日).....アロマラベンダーの湯
- 7月15日(火)~20日(日).....梅の湯
- 7月22日(火)~27日(日).....みかんの湯
- 7月29日(火)~31日(木).....プラセンタの湯

誕生日のお祝いに
センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください

チャリティー 友愛セール

平成26年 7月12日(土) 10:00~12:30

[会場] 黒部市国際文化センター
「コラーレ」マルチホール

掘り出し物を見つけよう!

食器やタオル、洗剤、石鹸、衣類などなど
盛りだくさんご用意しています!
お誘い合わせの上、お出かけください。

売上げ金の一部は、黒部市内の
ボランティア活動推進のために活用されます。



午後からの黒部市社会福祉大会も
ご参加ください!

主催/黒部市地区ボランティア部会協議会

お知らせ

第9回 黒部市社会福祉大会を開催します

平成26年 7月12日(土) 13:30~17:00

※ 13:30以降のご入場は、お断りいたします。

[会場] 黒部市国際文化センター「コラーレ」
カーターホール

入場
無料

大会プログラム

1. 式典...社会福祉に貢献された方を表彰します
2. 議事...地域福祉をさらに推進するために
3. アトラクション...映画上映

上映作品紹介 /



「おおかみこどもの雨と雪」

大人から子どもまで
楽しめる感動作!

富山県上市町の山里を舞台に描かれた富山県出身の細田守監督作品。「おおかみおとこ」と恋に落ちた「花」は「雪」と「雨」という二人の「おおかみこども」を授かるが、ある日、彼は帰らぬ人に。残された子ども達が人間かおおかみか、どちらの生き方も選べるよう人里離れた田舎に移り住む。花と子ども達の13年間にわたる物語。

主催/社会福祉法人黒部市社会福祉協議会
黒部市共同募金委員会、黒部善意銀行
共催/黒部市

大会事務局

【社会福祉法人黒部市社会福祉協議会】
〒938-0022 黒部市金屋464-1
黒部市福祉センター内
TEL.0765-54-1082 FAX.0765-52-2797



大会は赤い羽根共同募金の助成金を受けています。

ふくし スマイル ワーカー

スマイル
Vol.7



特別養護老人ホーム おらはうす宇奈月
介護福祉士

小杉 彩子さん(29歳)

食事から排泄まで利用者さんの
生活を支えるお手伝い

持っている力を引き出し、 その人らしい生活ができるように

一般企業を退職し介護福祉士の資格を取得。「高校時代も介護職に就くことを考えていましたが当時は覚悟ができませんでした。この4年以内に祖母と母を亡くし改めて人生に向き合いました」と話し、2年間学校で学び今年4月から特別養護老人ホームで働き始めた小杉さん。「今は日々勉強。上司や先輩の背中を見て、一生懸命やっています」

「これからは利用者さんの変化や表情に気付ける力を身につけたい。持っている力を引き出し、その人らしい生活ができるよう支援ができればいいな」と輝く笑顔で話してくれました。

地域福祉の
ために

黒部市社会福祉協議会に
寄付いただきました。
ありがとうございました。

◎ 故 長川 政信 様(下立)